

消費生活レポート

今回の話題 ESTA等の電子渡航認証は
申請代行サイトに要注意！

相談事例 アメリカ渡航のためにネット検索で表示されたサイトから ESTA^(※)を申請した。帰国後、クレジットカード会社から公式サイトで申請した場合の代金の約10倍にあたる請求があった。問い合わせたところ、申請代行サイトで申請していたことがわかった。高額な手数料に納得できない。今後どうしたらいいか。

※ ESTA（エスタ：Electronic System for Travel Authorization）

アドバイス

- ・近年、アメリカのESTA、イギリスのETA、カナダのeTAなど、渡航にあたり事前に電子渡航認証の取得を義務付ける国が増えています。渡航のための電子渡航認証は、公式サイトから申請できますが、ネット検索で上位に表示されたサイトを公式サイトと思い込み申請したことによる、申請代行事業者とのトラブルの相談が寄せられています。
- ・申請代行サイトでは手数料を請求され、費用が高くなります。公式サイトかどうかをしっかりと確認しましょう。
- ・契約後は、キャンセルが難しい場合がほとんどです。契約前に契約内容やキャンセル条件をよく読みましょう。代行事業者が申請を完了する前であればキャンセルできる可能性もあります。最終画面をスクリーンショットで保存しておきましょう。
- ・困ったときは消費生活センターにご相談ください。
- ・海外事業者とのトラブルは越境消費者センターでも相談を受け付けています。

国民生活センター越境消費者センター（Cross-border Consumer center Japan：CCJ）
<https://www.ccj.kokusen.go.jp/>

*この記事は、国民生活センターが発行した見守り新鮮情報第532号を参考に作成しました。



よこすか MOVIE「悪質
商法から身を守るには」
をぜひご覧ください。

■消費生活相談窓口（横須賀市消費生活センター）



- 電話 046-821-1314（相談専用電話）
- 相談受付時間 月曜日～金曜日 9：00～16：00
（祝日、年末年始の休館日は除く）

※ 対象は横須賀市民のみです